

# 神戸から西宮、北摂、乙訓地域を通過して東寺口へ 西国と京都をつないだ 西国街道

見所ガイド

## 灘五郷から当時の宿場町、西宮へ



JR三ノ宮駅前の案内看板

三宮から西国街道散策を開始。往時の面影を感じさせる社寺や目印となる道標の一つひとつ確かめながら、神戸市内を歩きます。街道は、ここから芦屋市を抜けて西宮市内へ。灘から西宮にかけては「灘五郷」と呼ばれる全国屈指の酒どころとして知られています。道中、伝統の味に触れてみるのも楽しいでしょう。



西宮神社

## 武庫川、猪名川に囲まれた稲野平野から池田、箕面へ

西宮から武庫川を渡ると尼崎市内に入ります。かつては武庫川に「髭の渡し」とも言われた渡し船が行き来していました。続いて伊丹市内に入ると、西国街道から少し離れた所に、奈良時代の僧・行基が建てた「昆陽布施屋」の後身寺院とも言われる昆陽寺があります。かつて本陣があった昆陽を経て道なりに歩き、伊丹坂を下るとやがて猪名川に出ます。この川は徒歩で渡っていましたが、明治時代に「軍行橋」が架けられました。府県境を越えて大阪府池田市に入ると、程なく阪急石橋阪大前駅の南側に至ります。西国街道と阪急宝塚線が交わる地点に「西国街道」踏切がありますが、この付近で西国街道と能勢街道が交差していたことから、踏切の傍らに高札場を模した案内板が設けられています。国道171号線と176号線が交わる「石橋阪大下」交差点を斜め向こうに渡ると、西国街道は箕面市域へと続いていきます。



路傍の石標

## 郡山宿で往時のにぎわいを思う

茨木市内に入って、まず目につく郡山宿本陣は、西国街道全体の象徴ともいえる存在。その立派な門構えを見ていると、街道のなかでも特ににぎわいを見せたといわれる郡山宿の往時の様子が目に浮かぶようです。「椿の本陣」とも呼ばれ、その由来となった椿は、現在も季節になると咲き誇ります。



郡山宿本陣

### ◆各施設のお問い合わせ

- 西宮市立郷土資料館 ..... ☎0798-33-1298
- 尼崎市立歴史博物館 ..... ☎06-6489-9801
- 市立伊丹ミュージアム ..... ☎072-772-5959
- 箕面市立郷土資料館 ..... ☎072-723-2235
- 茨木市立文化財資料館 ..... ☎072-634-3433
- 高槻市立今城塚古代歴史館 ..... ☎072-682-0820

## 参勤交代で栄えた芥川宿を歩く

高槻市に入ると芥川一里塚から芥川橋までの間、約400mの道沿いに芥川宿の面影を見ることができます。ここは、高槻城に近く、大坂・兵庫・丹波への分岐点でもあったため、17世紀のはじめ徳川幕府により山崎通の宿駅として整備されました。参勤交代のために本陣が設けられ、旅籠屋も建ち並び、伝馬(公用の荷馬)も置かれ、大名行列や旅人らが行き交う摂津の要地でした。幕末には、政変に敗れて長州に逃れる途中の三条実美ら七卿もこの芥川宿に泊まったといわれています。



芥川宿

## 秀吉と光秀の合戦地、山崎に行く



天王山

羽柴秀吉と明智光秀による「山崎の戦い」の地としても知られる大山崎。天正10年(1582)に起こったこの戦の舞台となったのは、山崎の背後にそびえる天王山の山麓でした。勝龍寺城に本陣をかまえた光秀側につく武将は少なく、戦いは秀吉の圧勝に終わりました。

秀吉が天下統一への道を歩み始めた天下分け目の地・天王山は、全てを包み込むように静かにたたずんでいます。

## 桂川を渡って、京都市内へ向かう

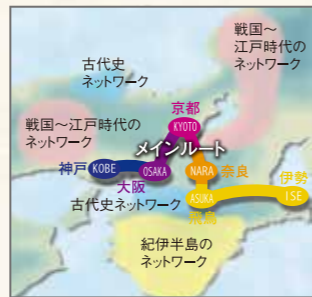
「幻の都」といわれた長岡京跡が広がる大山崎町、長岡京市、向日市を抜け、桂川を渡って京都市内へ。街道は、東寺へと向かいます。平安京を護るために建てられた官寺である西寺と東寺。その間には、羅城門がおかれていました。羅城門から京のメインストリート・朱雀大路が平安宮までのびていました。平安京の表玄関としてそびえ立っていた羅城門は、天元3年(980)の台風で倒壊し、現在は羅城門町の公園に石碑が建っています。東寺は、都における真言宗の本拠として栄え、今も多くの人々が訪れます。西寺は早くに衰え、現在は西寺跡の碑が建つ唐橋西寺公園内に講堂跡が土壇として残るのみです。



長岡京跡

## 歴史街道とは

歴史街道は日本の歴史文化を体感できるルートとエリアです。歴史街道計画では、関西の豊かな歴史文化資源を活用し、「日本文化の発信」と「個性豊かな地域づくり」をめざしています。



- 古代史ゾーン
- 平安～室町時代ゾーン
- 近代ゾーン
- 奈良時代ゾーン
- 戦国～江戸時代ゾーン

- 高槻市立しろあと歴史館 ..... ☎072-673-3987
- 島本町立歴史文化資料館 ..... ☎075-961-3411
- 大山崎町歴史資料館 ..... ☎075-952-6288
- 向日市文化資料館 ..... ☎075-931-1182
- 京都文化博物館 ..... ☎075-222-0888

※本マップは大阪府都市整備部、関係市町、関係団体からデータ、写真、その他必要な情報の提供・協力をを受けて作成しています。許可なく転載、複製はお断りいたします。  
※2021年3月現在のデータをもとに作成しています。変更されている場合もありますので、お出かけの際にはあらかじめご確認ください。

安全にウォーキングを楽しむために  
※交通ルールを守り、車両などには十分注意してください。  
※生まれている方、他の通行者の迷惑にならないようご注意ください。  
※たばこの吸殻、ペットボトル、空き缶などのゴミは持ち帰りましょう。  
※文化財は大切にしましょう。また自然を守るため、植物の採取などはしないでください。



協力:文化庁 地域文化創生本部 文部科学省

# 西国街道



©M.SASAKI

## 西国街道とは

「西国街道」とは、京都(東寺口)から大山崎、高槻等、淀川右岸を通り、大坂を経ないで西国(下関、九州まで)へ至る江戸時代の重要な幹線道路のことで、京都から西宮までのルートは別名「山崎通」とも呼ばれていました。幾多の人物が往来し、物資が流れ、情報や文化の伝播を担う動脈であった西国街道は、駆け抜けていった時代の軌跡とも云えるでしょう。

\*西国街道を巡るには、京都から西方へ向うのが自然かもしれませんが、この地図の原図の構成に基づき、神戸から京都へ向う構成となっております。ご了承ください。



歴史街道 REKISHI KAI DO

http://www.rekishikaido.gr.jp

お問い合わせ 歴史街道推進協議会事務局 ☎06-6223-7745



# 神戸市中央区～神戸市東灘区

● 歩行距離 / 9.7km ● 標準歩行時間 / 2時間25分 ※1時間4kmで計算しています



JR三ノ宮駅前にある西国街道案内看板からスタート。JRと阪急・阪神電車の各鉄道と並行するように歩きます。古くからある社寺や遺跡を確かめながら歩くのも楽しいでしょう。また、この付近には地元の方々によって建てられた案内板や道標があり、街道歩きを目安となります。

## 生田の森 (生田神社)



生田神社の北側に、うっそうとした森があります。平安末期の頃はもっと大きな森で、一ノ谷の戦いに際して平氏はここに東の砦を築きました。神社境内には、一ノ谷の戦いのゆかりの石碑が残っています。

## 北野天満神社



平清盛が福原遷都を行った際、鬼門の鎮護として京都の北野天満宮を勧請したと伝わっています。異人館街の天神さんとして親しまれ、境内からは市街地を一望できます。

## 敏馬神社



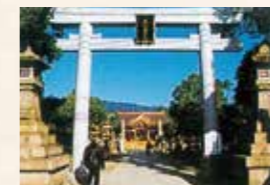
その昔「敏馬の崎」と呼ばれた高台にあった神社。かつては、この神社の東側に白砂青松の敏馬の海が広がっており、その美しさは万葉集にも度々詠まれました。境内には、柿本人麻呂や田辺福麿の歌碑も建てられており、万葉に縁のある神社としても知られています。

## 澤之井



阪神電車御影駅そばの高台下にある井戸。神功(じんぐう)皇后が朝鮮出兵の帰りに化粧のために姿を映したことから、「御影」の地名がついたとされています。昭和60年(1985)には、阪神御影駅北側広場の整備にあたって碑が建てられるなど、今なお地域の人々に親しまれています。

## 本住吉神社



表筒男(うわつつお)命、中筒男(なかつつつお)命、底筒男(そこつつお)命、神功皇后などを祭神としています。諸説ありますが、ここが住吉三神鎮祭の根源であると伝え、そのために古くから「本住吉神社」と呼ばれています。住吉歴史資料館には、住吉村の古地図や古文書が展示されています。



## 神戸市立博物館



ドリス様式の円柱が立ち並ぶ新古典様式の建物で、南蛮美術・古地図資料など東西文化交流に関わるコレクションを有する、質・量とも随一の博物館です。国重要文化財を含む所蔵品は約5万5千点で、神戸の歴史を学べます。

開館時間▶10:00～17:00(展覧会により時間が変更となる場合があります。詳しくは、博物館にご確認ください。)  
観覧料▶一般:300円、大学生:150円、高校生以下は無料(特別展は別途観覧料あり) ☎078-391-0035

## 河原霊社 (三宮神社)



一ノ谷の戦いで、生田の森に一番乗りで攻め込んだ河原兄弟を祀ります。その勇猛果敢な戦いぶりは、敵の平氏も感心したと伝わります。

## 兵庫県立美術館

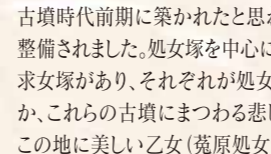


阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして、2002年HAT神戸に開館しました。世界的に著名な建築家・安藤忠雄氏によって設計された建物は西日本最大級の規模。北には六甲山系を、南には瀬戸内海と神戸港の風景を望む美しい環境に位置します。

開館時間▶10:00～18:00(入場は閉館の30分前まで)  
入館料▶有料、高校生以下無料(特別展・コレクション展のみ) 休館日▶月曜日(祝日の場合は翌平日)  
神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1 ☎078-262-1011



## 処女塚古墳



古墳時代前期に築かれたと思われる前方後方墳で、1985年に遺跡公園として整備されました。処女塚を中心に東西それぞれ約2キロメートルの地点に、東西の求女塚があり、それぞれが処女塚の方向を向いている形になります。そのため、これらの古墳にまつわる悲しい恋の伝説が古くから伝えられています。この地に美しい乙女(菟原乙女:うないおとめ)が住んでおり、多くの求婚者がいましたが、特に熱心だった2人(和泉(大阪府南部)の「血沼壮士(ちぬおとこ)」と地元の「菟原壮士(うないおとこ)」)が武器を持っての争いとなり、乙女は立派な若者を自分のために争わせたことを嘆いて死んでしまいました。2人の若者もそれぞれ後を追って死んでしまい、それを哀れに思った人たちが、後々に語り伝えるために3人の塚を築きました。この伝説は奈良時代の万葉集に登場する歌人たちが歌に詠んでいることから、かなり古い伝説だったようで、平安時代の「大和物語」では2人の若者が水鳥を弓矢で射て乙女を争うストーリーになり、後の時代にも謡曲「求塚」や森鴎外の戯曲「生田川」などとして取り上げられています。

## 灘五郷



西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷から成り、神戸市灘区から西宮市にかけてひろがる酒造地域。古くから優良酒として知られていた灘の酒の名前は、江戸時代に樽廻船で酒を江戸に運ぶようになって、さらに広まりました。現在でも日本屈指の酒どころとして知られています。



# 神戸市東灘区～西宮市上大市

● 歩行距離 / 12.4km ● 標準歩行時間 / 3時間06分 ※1時間4kmで計算しています



## 打出天神社

祭神は菅原道真。創建や由来は明らかではありませんが、天曆元年(947)北野天満宮に道真が祀られてからそれほど遠くない時期には、この地に祀られていたという説もあります。古くから交通の要衝として栄えた打出の地には、天神信仰が早くから伝わったと考えられます。

## 西宮神社

えびす宮の総本社として知られる西宮神社は、平安時代の終わり頃に鎮座したといわれ、古くは漁業や海上交通の神様として、後には商売の神様として尊崇を集めています。赤門(表大門)や神社を囲む大練塀は重要文化財に指定されているほか、多数の文化財があります。

## 甲山★

夙川から北に甲山を望むことができます。山頂からは弥生時代の青銅器(銅文)が発見されているほか中腹には源頼朝塚があり、神功皇后が甲冑を埋めたという伝説やその山容と相まって神秘性をまとうています。山麓には、多数の重要文化財を有する古刹神呪寺があり、毎年5月18日の融通観音大祭では本尊如意輪観音坐像の開帳があります。

## 広田神社の コバノミツバツツジ群落

創建が平安時代以前にさかのぼる由緒ある神社で、天照大神の荒御霊を祀っています。平安時代末には歌合がたびたび催されるなど、貴族の尊崇を集めました。鎌倉時代以降は、神功皇后の外征の際に神威があったといういわれから武士の崇敬が厚くなりました。境内にはコバノミツバツツジが群生し(兵庫県指定)、3月後半には薄桃色の花を咲かせてツツジの名所となっています。

## 門戸厄神(東光寺)

厄除開運の厄神明王が祀られている東光寺。嵯峨天皇が厄年の折り、夢のなかで愛染明王と不動明王が一体となって災厄を払い、魔を退治する力を感じました。それを基に弘法大師がつくった3体の明王像のうち、1体が東光寺に祀られているとされています。

## 阿保親王塚

平城天皇の第一皇子・阿保親王が祀られているとされる塚。住宅地のなかにあり、周囲を石柵で囲まれています。直径約36m、高さ3mの円形の古墳で周濠が巡らされています。宮内庁で管理されているため公開はされていませんが、毎年12月には正辰祭が行われます。

## 夙川

六甲山地に発し西宮市南西部を南流して大阪湾に注ぎます。全長6.7km。「夙川公園」は桜の名所として有名で、「日本さくら名所100選」に選ばれています。西国街道は、阪神電鉄「香榎園」駅のすぐ南で夙川を渡ります。

## 漢織呉織伝承地

西国街道からすこし東に外れて阪神電鉄本線北側に漢織呉織伝承地があります。ここにあった古松には応神天皇の時代に中国「呉」国から渡ってきた漢織(あやはとり)・呉織(くれはとり)が、ここで染めた織物を掛けて干したという伝説があります。そばの喜多向稲荷神社には織物の祖神織姫大明神が祀られています。

## 御輿屋伝承地

西国街道と札場筋が交わる角に御輿屋伝承地があります。西宮神社のエビス神鎮座伝説にちなむ故地で、漁夫によって海中から引き揚げられたエビス神が、現在の社地まで遷る途中、輿を置いて仮眠をとった場所とされています。

## 宮水井

西国街道より南、約500m四方の地域で汲み上げられる「宮水」は、酒造りに適した水として知られています。宮水の効能が発見されたのは、江戸時代後期のこと。現在も酒造会社が管理する宮水井から取水されています。一部は宮水庭園として公開。環境省選定名水百選。

## 西宮市立郷土資料館

西宮地方の歴史と文化財を、実物資料やジオラマを通して観覧できる博物館です。甲山銅戈や津門銅鑼・新酒番船入津繁栄錦絵、名塩紙漉きジオラマ・宿駅生瀬家並み模型・明治大正頃の市内名所絵葉書等を常設展示しているほか、特別展示、特集展示も行います。また、講演会・歴史ハイキング等を開催しています。開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶月曜・年末年始 ☎0798-33-1298

★印の寺社・施設等の位置は地図記載エリア外です。HP、電話等でご確認ください。



# 西宮市上大市～箕面市瀬川

● 歩行距離 / 12.1km ● 標準歩行時間 / 3時間01分 ※1時間4kmで計算しています



## 髭の渡し跡

江戸時代に武庫川に渡しがあり、1909年(明治42)に甲武橋がかかるまで渡しは続けられました。西昆陽村の髭の安兵衛さんの茶屋が近くにあったことから髭の渡しと呼ばれたようです。西行きは西昆陽村と常松村が隔月で、東行きは段上・上大市・下大市村が月番でそれぞれ渡しを担当しました。現在、行者堂が建てられている東岸河川敷付近に東の渡し場があったと思われます。

## 武庫川コスモス園

武庫川河川敷に平成15年に新たな花の名所が誕生しました。この一帯はこみの不法投棄など一時は荒れ果てていましたが、多くのボランティアの皆さんの努力により、見事なコスモス園に生まれ変わりました。例年、9月の初めに550万本分のコスモス(種類:センセーションほか)の種をまき、10月下旬～11月下旬にかけて美しいピンクのじゅうたんが広がります。

## 昆陽寺

僧・行基が建てた昆陽布施屋の後身寺院ともいわれています。戦国期に兵火にかかって焼失し、その後再建されました。朱塗りが鮮やかな山門と境内の観音堂は、昭和44年(1969)に県の文化財に指定。同寺は西国四十九薬師霊場の第十九番霊場です。

## 浄源寺

浄土真宗本願寺派の寺。蓮如上人が有馬に向かう途中、この地で説法を行い、そこが後に寺になったと伝えられています。境内には、イチヨウを母木としてキリとムクノキが寄生している木があり、市の天然記念物にも指定されています。一里塚的な存在であったとされています。

## 弁慶の泉

源義経一行が西国街道を尼崎へ落ち延びた際、武蔵坊弁慶がこの泉でのどの渇きを潤したと伝えられ、この名で呼ばれています。昔から一帯の灌漑用水として重要な役割を果たした由緒ある泉ですが、近年水量の低下が問題となっています。

## 富松城跡★

長享2年(1488)の史料にその名がみえ、西摂の戦乱の舞台となった戦国時代の城館跡です。現在、城の西側の守りとして築かれた土塁の一部が残されており、幅11m、高さ4mあります。これまでの発掘調査では土塁の内側(東側)にあたる場所で大規模な堀が見つかることから、富松城は土塁と二重の堀を備え、東西150m以上、南北200m以上の規模の城館であったと推定されます。

## 尼崎市立歴史博物館★

江戸時代の尼崎城本丸跡に位置する歴史博物館は、昭和13年に竣工した尼崎市立高等女学校の校舎を改装し、令和2年10月10日に新たに開館しました。常設展示では、尼崎の原始から近現代までの歴史を紹介し、特別展や企画展、講演会や体験学習事業等の教育普及活動を行っています。また地域研究史料室では、歴史的公文書をはじめとした地域の歴史に関する史料を収集、保存し、レファレンスを行うなど公文書館機能も備えています。  
開館時間▶9:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶月曜(祝日の場合は直後の平日)、年末年始 ☎06-6489-9801

## 臂岡天満宮

都から大宰府へ向かう途中の菅原道真が当地で休息した、との故事にちなんで、のちに道真を祀る社が建てられました。道真は休息の際に臂を枕に休息したので、それ以来肘岡(臂岡)と呼ばれるようになったと伝えられています。境内では、近くにあった古代寺院の伊丹廃寺の巨大な礎石も見られます。

## 市立伊丹ミュージアム

江戸時代には「酒のまち」として繁栄し、文人墨客が訪れる文化の薫り高いまちとして知られる伊丹市。その中心市街地に令和4年4月22日にGrandオープンした当館は、美術・工芸・俳諧俳句・歴史の多分野に及ぶ資料の収集保存と活用、多彩な展覧会や講座、文化財に指定された建造物の継承・公開を行っています。  
開館時間▶10:00～18:00(入館は17:30まで)  
休館日▶月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始 ☎072-772-5959

## 正光寺

「中納言石」「夜泣き石」といわれる石がある寺。江戸時代に麻田藩の藩主がこの石を陣屋に持ち帰ったところ、毎晩「帰りたい」と泣いたため、正光寺の近くの辻に持ち帰らせました。その後、毎年2月23日に中納言祭が行われ、人々が石の周囲で念仏を唱えたといわれています。

## 箕面大滝★

日本の滝百選にも選ばれている箕面大滝は、明治の森箕面国定公園にあり、その落差は33メートル。岸壁から流れ落ちる水の姿が農具の「箕」に似ているところからこの名で呼ばれるようになりました。秋は紅葉の名所として有名ですが、春は爽やかな新緑、夏は清涼な水しぶき、冬はあでやかな雪化粧が、滝をより美しく引き立てます。



西宮市から伊丹市へ。この付近には、さまざまな歴史遺産が点在しています。案内板が設置されているところも多いので、そのいわれをしながら歩いてみるのもおすすめです。歴史を知ると、同じ道でもまた違って見えてくるものです。池田市に入って、さらに北東方向に進みます。

★印の寺社・施設等の位置は地図記載エリア外です。HP、電話等でご確認ください。



# 箕面市瀬川～茨木市豊川

● 歩行距離 / 10.8km ● 標準歩行時間 / 2時間42分 ※1時間4kmで計算しています



箕面市から茨木市へ国道171号に沿って進みます。道標が数多く建っているため、よい目印になります。街道からは離れますが古くからある霊山・箕面山は、ぜひ訪れたいところ。名刹・勝尾寺のほか滝や周遊路もあり、特に紅葉の頃には多くの観光客で賑わいます。小野原周辺は、街道の面影を残しています。

## 天児屋根命神社 通称:瀬川神社



藤原氏の祖神である天児屋根命(あめのこやねのみこと)が祀られています。また、神社の境内にある井戸は、龍が水を飲んで天に昇ったという言い伝えがあり、井戸を「龍の井」と称し、この宮は「龍の宮」とも呼ばれています。入口脇には、木の根に飲み込まれた小さな祠があります。

## 瀬川半町立会本陣跡



半町から瀬川にかけて、街道は石畳風に整備されています。この周辺は宿場跡です。「山崎通分間延絵図」を見ると、細い路地を隔てて、瀬川本陣と半町本陣が位置し、その周辺に旅籠が何軒もあって、両本陣の間には高札場が描かれています。瀬川は中世から宿場として栄えていました。

## 牧落の高札場跡



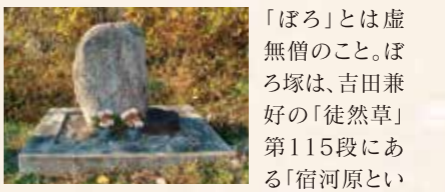
西国街道と箕面街道が交差するこの場所は、人々が多く集まるため、江戸時代の御触書を掲示した高札場跡があり、2本の道標が建てられています。背の高い方の道標には大阪天満の天神と豊中の服部天神への距離が刻まれています。

## 勝尾寺★



勝運の寺・勝尾寺は、古来より霊力が宿る聖山として信仰されてきました。神亀4年(727)善仲・善算が草庵を構え、光仁天皇の皇子・開成(かいじょう)が弥勒寺を建立、六代座主の行巡上人のとき勝尾寺となりました。都心に近い癒しの寺、紅葉の名所としても知られています。

## ぼろ塚



「ぼろ」とは虚無僧のこと。ぼろ塚は、吉田兼好の「徒然草」第115段にある「宿河原というところで敵同士であったぼろが出会って果たし合いをし、両方とも討ち死にした」という話に由来するといわれています。現在では、二人のぼろが果たし合いをした近くに「ぼろ塚」と刻まれた石碑が建っています。

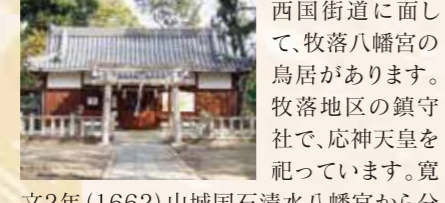


## 箕面市立郷土資料館★



箕面の歴史について、銅鐸や西国街道、ゆかりの人物まで幅広く楽しく学べる資料館です。年4回テーマに合わせた企画展も行っています。  
開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶木曜、年末年始 ☎072-723-2235

## 牧落八幡宮



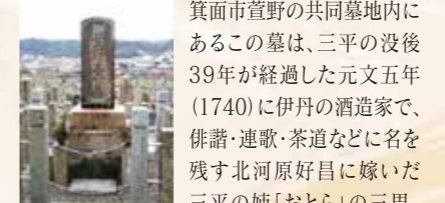
西国街道に面して、牧落八幡宮の鳥居があります。牧落地区の鎮守社で、応神天皇を祀っています。寛文2年(1662)山城国石清水八幡宮から分霊したのが始まりとされています。境内には寛文11年(1671)や延宝7年(1679)建立の燈籠の他、元禄11年(1697)建立の狛犬等の古い石造物があります。

## 萱野三平邸跡



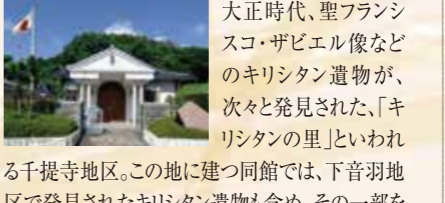
忠臣蔵で「赤穂浪士48番目の義士」として知られる萱野三平の住居跡。三平は、仇討ちに加わる決意をしながらも父親の反対にあい、その板挟みとなって自害したと伝えられています。三平が自害した長屋門と土塀の一部が残されており、昭和48年(1973)、大阪府の史跡指定を受けました。

## 萱野三平墓



箕面市萱野の共同墓地内にあるこの墓は、三平の没後39年が経過した元文5年(1740)に伊丹の酒造家で、俳諧・連歌・茶道などに名を残す北河原好昌に嫁いだ三平の姉「おとら」の三男、北河原長好と三平の兄萱野重通の孫重好が建立しました。正面の「萱野三平墓」の文字は書家として著名な黄檗宗の高僧百拙元養、側面の撰文は儒者として有名な「堀南湖」によるものです。

## 茨木市立キリシタン遺物史料館★



大正時代、聖フランシスコ・ザビエル像などのキリシタン遺物が、次々と発見された、「キリシタンの里」といわれる千提寺地区。この地に建つ同館では、下音羽地区で発見されたキリシタン遺物も含め、その一部を公開しています。茨木のキリシタンの歴史や文化に触れていただくことができる展示となっています。  
開館時間▶9:30～17:00 入館料▶無料 休館日▶火曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(その日が日曜の場合は開館)、年末年始 ☎072-649-3443

## 茨木市立文化財資料館★



「銅鐸の鋳型」をはじめ、先人たちが残した貴重な遺産が展示されています。また、茨木城についての展示もあり、茨木市の歴史を知る上で一度は訪れてみたいところです。  
開館時間▶9:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶火曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(その日が日曜の場合は開館)、年末年始 ☎072-634-3433

★印の寺社・施設等の位置は地図記載エリア外です。HP、電話等でご確認ください。



# 茨木市豊川～高槻市山手町

● 歩行距離 / 10.0km ● 標準歩行時間 / 2時間30分 ※1時間4kmで計算しています



## 郡山宿本陣

江戸時代の大名宿で、国の史跡指定を受けています。西国街道のほぼ中央にあり、御成門脇の櫓が美しく咲いたことから「櫓の本陣」とも呼ばれています。現存する宿帳には、忠臣蔵で有名な赤穂藩主浅野内匠頭の記録があります。

## 耳原公園

「山崎通分間延絵図」に描かれている字幣池にあたる場所で、現在は公園になっています。幣池の近くには、明智光秀にまつわる糠塚がありました。「摂陽群談」によると、天正年中に明智光秀がこの地を穿って糠・秫等を埋め、軍用とした古蹟であるため、糠塚と名付けられたとされています。

## いましろ大王の杜

日本を代表する歴史遺産・今城塚古墳が約9haの緑豊かな古墳公園に生まれ変わった「いましろ大王の杜」。今城塚古墳は、6世紀前半に築かれた二重の濠を備える淀川流域最大の前方後円墳です。10年にわたる発掘調査の結果、明らかになった大王のハニワ祭りの様子が約190点の復元埴輪で再現されています。

## 芥川宿

西国街道の宿駅の一つ。大名が使う本陣に加え、天保期(19世紀前半)には旅籠屋が33軒、家屋数も253軒を数えました。今でも家並みや、府史跡の芥川一里塚に面影が偲べます。また、街道沿いには北部の山岳寺院の神峯山寺への巡礼に人々を誘った道標や金毘羅詣りの旅人のために建立された石燈籠が残ります。

## 天神馬場

JR高槻駅の北側一帯は、かつて上宮天満宮の馬場があったところで、天神馬場と呼ばれていました。天正10年(1582)に起こった山崎合戦の際には、豊臣秀吉が本陣を置き、西国街道を軍勢が行き交いました。現在の石鳥居は、明暦2年(1656)に高槻藩永井家初代の永井直清が寄進したものです。



## 白井河原合戦跡

信長上洛後、摂津の支配をめぐり、和田方の軍と池田方の軍が激しくぶつかり、大きな合戦があったのがこの地です。この時、「白井河原は名のみにして、唐紅いの流れとなる」と言われるほど、赤い血に染まったと伝えられています。

## 太田茶白山古墳(継体天皇陵)

5世紀中頃に築造された全長226m、前方部幅147m、前方部長さ117m、後円部径138m、最大幅30m程の濠をもった三島最大前方後円墳です。

## 高槻市立今城塚古代歴史館

今城塚古墳から出土した貴重な埴輪や市内の考古資料を展示。大型古墳の築造の様子を実大のジオラマ模型や映像で学べます。古代の歴史体験も楽しめ、歴史館のグッズや高槻の特産品も購入できます。  
開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料(特別展・企画展は有料の場合あり) 休館日▶月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日、年末年始 ☎072-682-0820

## 嶋上郡衙跡

「いましろ大王の杜」近くにある嶋上郡衙跡。奈良～平安時代の郡役所の跡で、古代の山陽道(現在の西国街道)に面していました。庁院や寺、役人が住む村があったことが発掘調査で確認されています。昭和46年に国の史跡に指定され、郡庁院が1/3スケールで仮整備されています。

## 八丁松原

江戸時代の高槻は、譜代大名永井家3万6千石の城下町。この京坂間唯一の城下町は、淀川や西国街道を行き交う人びとで賑わいます。城下町の「京口」から西国街道へと至る8丁(約880m)の間には、高槻藩が松並木の道を整備し、参勤交代などに使いました。これが八丁松原で、城下町へのメインルートといえます。

## 高槻市立しろあと歴史館

貴重な文化財や模型で芥川宿や高槻城などが学べます。キリシタン大名として知られる高山右近ゆかりの資料も展示。高槻城公園には、江戸時代の商家を移築した歴史民俗資料館があり、昔の生活道具や農具などが見学できます。  
開館時間▶10:00～17:00 入館料▶無料(特別展・企画展は有料の場合あり) 休館日▶月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日、年末年始 ☎072-673-3987



# 高槻市山手町～長岡京市神足

● 歩行距離 / 9.5km ● 標準歩行時間 / 2時間23分 ※1時間4kmで計算しています



高槻市から島本町を通過して大山崎町、長岡京市へ。大山崎町には、離宮八幡宮や妙喜庵などがあり、歴史散策にはぴったり。紀貫之、豊臣秀吉、明智光秀、千利休をはじめとした多くの歴史上の人物が行き交った地です。長岡京市は古代の都であった長岡京跡をはじめ、乙訓寺や勝龍寺城跡などがあります。

## わかやまじんじゅ 若山神社



素盞鳴尊(すさのおのみこと)をまつり、大宝元年(701)に行基が創建したと伝えられている神社。近世には、地域の氏神として広く崇敬を集め、現在でも多くの人が参拝に訪れます。春は桜、秋は紅葉の名所として知られ、境内からは三川合流地点や男山を望むことができます。

## みなせじんぐう 水無瀬神宮



かつて後鳥羽天皇の離宮があったとされる地に立つ神宮。重要文化財である客殿は、豊臣秀吉が家臣・福島正則につくらせ寄進したとされています。また、境内には大阪府で唯一環境庁(現環境省)認定の「名水百選」のひとつ「離宮の水」があります。

## りきゅうはちまんぐう 離宮八幡宮



貞観元年(859)に、宇佐八幡神を嵯峨天皇の離宮跡に祀ったのが始まりとされる神社です。平安時代後期から始まった荏胡麻油づくりは、鎌倉・室町時代になって発達し、全国の油販売権を独占しました。寛永11年(1634)には徳川家光の庇護を受け、境内が拡張されました。

## ほうしゃくじ 宝積寺



奈良時代の僧行基が開基と伝えられています。平安時代後期から確認できる真言宗寺院です。豊臣期に建てられた「一夜の塔」と呼ばれる三重塔(重要文化財)、桃山時代の様式という本堂(府登録文化財)など、多くの建造物が残ります。

## てんのうざん・やまざきじょうあと 天王山・山崎城跡



標高270メートルの天王山には、重要文化財の神興庫を持つ酒解神社、真木和泉守らを祀る十七士の墓、羽柴秀吉が築いた山崎城跡などが残ります。(写真は天王山中腹の山崎合戦の碑)



## かじわらだいはあと 梶原台場跡



動乱の幕末期、京都を守る会津藩は、街道上の大坂側に台場(砲台)を設け、敵対する長州藩などの上洛阻止を図りました。慶応元年(1865)に京街道の楠葉台場、西国街道の梶原台場が完成。梶原台場は、200m×300mの規模で、稜堡式という西洋の築城プランで築かれました。残念ながら、その跡は残されていません。

## 島本町立歴史文化資料館(旧麗天館)



JR島本駅の東側に建つ資料館は、昭和16年に国指定史跡桜井駅跡の記念館として建てられました。その後、大阪府立青年の家の講堂として活用され、平成13年に閉所、平成20年に島本町の歴史や文化を紹介する資料館として生まれ変わりました。  
開館時間▶9:30~17:00 入館料▶無料 休館日▶月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始、展示準備期間 ☎075-961-3411

## みょうきあん アサヒビール 大山崎山荘美術館



大正から昭和初期にかけて建築された大山崎山荘を世界的な建築家・安藤忠雄氏の監修により修復し平成8年(1996)4月にオープンした美術館です。自然と山荘・庭園が一体となった美と安らぎの空間で美術鑑賞を楽しめます。

## みょうきあん 妙喜庵



室町時代後期に僧春嶽が開山したという。千利休が建てたとされる国宝の茶室「待庵」は、当時の様子を示す二畳の茶室です。利休の山崎屋敷から移築したものと言われています。妙喜庵書院も重要文化財です。拝観は往復ハガキで1か月前に申し込みが必要です。

## 大山崎町歴史資料館



大山崎ふるさとセンター2階。考古資料や茶室待庵の実物の複製などを展示。わかりやすい映像も好評で、油売りや秀吉、光秀による山崎合戦の理解も深まります。ふるさとガイドの会に無料で展示解説を申し込むことができます(要予約)。  
開館時間▶9:30~17:00 入館料▶一般200円、中学生以下無料 休館日▶月曜(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始 ☎075-952-6288

## 長岡京市立 中山修一記念館



故・中山修一氏(1915~1997)は、平城京から平安京へ遷るまでの10年間都が置かれた長岡京の調査研究に尽力した人物です。記念館は、中山氏の生家の一部を長岡京市が寄贈を受け、その業積をわかりやすく学べるようにした施設で、氏の蔵書を閲覧することもできます。



# 長岡京市神足～京都市南区

● 歩行距離 / 8.6km ● 標準歩行時間 / 2時間09分 ※1時間4kmで計算しています



長岡京市から向日市を抜けて京都市内へ。向日神社や、古代の都“長岡京”の中心地であった長岡宮跡を過ぎ東向日駅を越えて進み、桂川にかかる久世橋を渡ります。橋のたもとに堤防からは、北に愛宕山、北山、比叡山の山並みが、東西に東山と西山の峰々が、南には平野と360度のパノラマが楽しめます。橋を渡るとゴールはもう目の前です。

## 長岡天満宮

菅原道真公が大宰府に左遷される時に名残を惜しんだ地といわれています。広大な境内の東側には八条ヶ池が広がり、参道と池にかかる水上橋による「八条ヶ池ふれあい回遊のみち」は四季を通じた景勝地となっています。また、参道には樹齢約150年のキリシマツツジが群生し、4月下旬には真紅の花が咲き誇ります。(地図P12)

## 光明寺

西山浄土宗総本山。建久9年(1198)、法然上人の弟子熊谷次郎直実(蓮生法師)が開基したといわれています。緑豊かな西山の麓に広がる境内は、四季折々の豊かな自然に囲まれています。特に、11月中旬から12月上旬にかけては参道両側のみじか鮮やかに紅葉し、訪れる人々を魅了します。(光明寺および周辺には駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。)

## 向日神社

養老2年(718)鎮座と伝わる式内社。西国街道に面して石の大鳥居がたち、約200m続く桜並木の参道を登ると、境内には天保年間(1830～44)に整備された社殿が建ち並びます。本殿は室町時代中期に建立された国指定の重要文化財。荘厳な鎮守の森は、乙訓屈指の古社といわれる歴史を物語ります。

## 長岡宮跡

1200年以上昔、日本の政治、文化の中心が向日市にありました。延暦3年(784)、桓武天皇は平城京から乙訓郡(向日市、長岡京市、大山崎町、京都市の一部)に都を遷し長岡京としました。向日市では、天皇が政治を司った長岡宮の「大極殿」「小安殿」の建物跡が発掘され、国の史跡として桜の美しい公園となっています。

## 福田寺

奈良時代の養老2年(718)に行基菩薩が開祖したと伝えられています。「福田寺縁起書」によると、行基菩薩が夢のお告げにより、この地で「釈迦如来」「地藏菩薩」の二尊を刻み精舎を建立しました。歴代住職には、平安時代末期の百人一首の詠み人で有名な歌人、俊恵法師がいます。



## 勝竜寺城公園

暦応2年(1339)に細川頼春が築いたといわれる城。明智光秀の娘・玉(後のガラシャ)が嫁いだ城であるとともに、山崎の合戦で、光秀が本陣を構えた地としても知られています。平成4年(1992)に土塀、石垣、城門、櫓などを再現した公園として整備され、市民の憩いの場となっています。(地図P12)

## 乙訓寺

真言宗豊山派長谷寺の末寺で、推古天皇の勅願によって聖徳太子が創建したと伝えられています。延暦4年(785)、長岡宮造営長官・藤原種継の暗殺事件で捕えられた早良親王が幽閉された寺としても有名です。毎年4月下旬から5月上旬にかけて、約2,000株におよぶボタンが境内で咲き誇ります。

## 中小路家住宅

石畳に整備された家並みのなかにある国登録有形文化財の民家。江戸時代に庄屋を務めた当家は、弘化5年(1848)に主屋を建て替え、街道沿いに並び建つ長屋門と穀蔵は、白壁と腰板が美しく調和した姿を見せています。土間を改装した喫茶室があり、座敷での茶会、寄席やコンサートなど、多彩なイベントを開催。喫茶室時間▶10:00～17:00 喫茶室休日▶月・火曜(イベント時臨時休有り) ☎075-921-2657

## 向日市文化資料館

古代の都“長岡京”について展示するため、遷都1200年にあたる昭和59年に開館。常設展では、向日市内にある大極殿・朝堂院跡をはじめとする遺跡からの出土品や模型・映像によって、都の暮らしを紹介しています。開館時間▶10:00～18:00 入館料▶無料 休館日▶月曜(休日の場合は開館し、直後の平日を閉館)年末年始、その他(月初資料整理日) ☎075-931-1182

## 東寺

正式には教王護国寺といい、世界文化遺産にも登録されている寺。平安京遷都の際に建立され、後に嵯峨天皇によって空海に下賜されました。以降、真言密教の根本道場として発展しました。また、伽藍の配置は創建当時のままで、重要文化財に指定されている講堂、国宝である金堂があります。

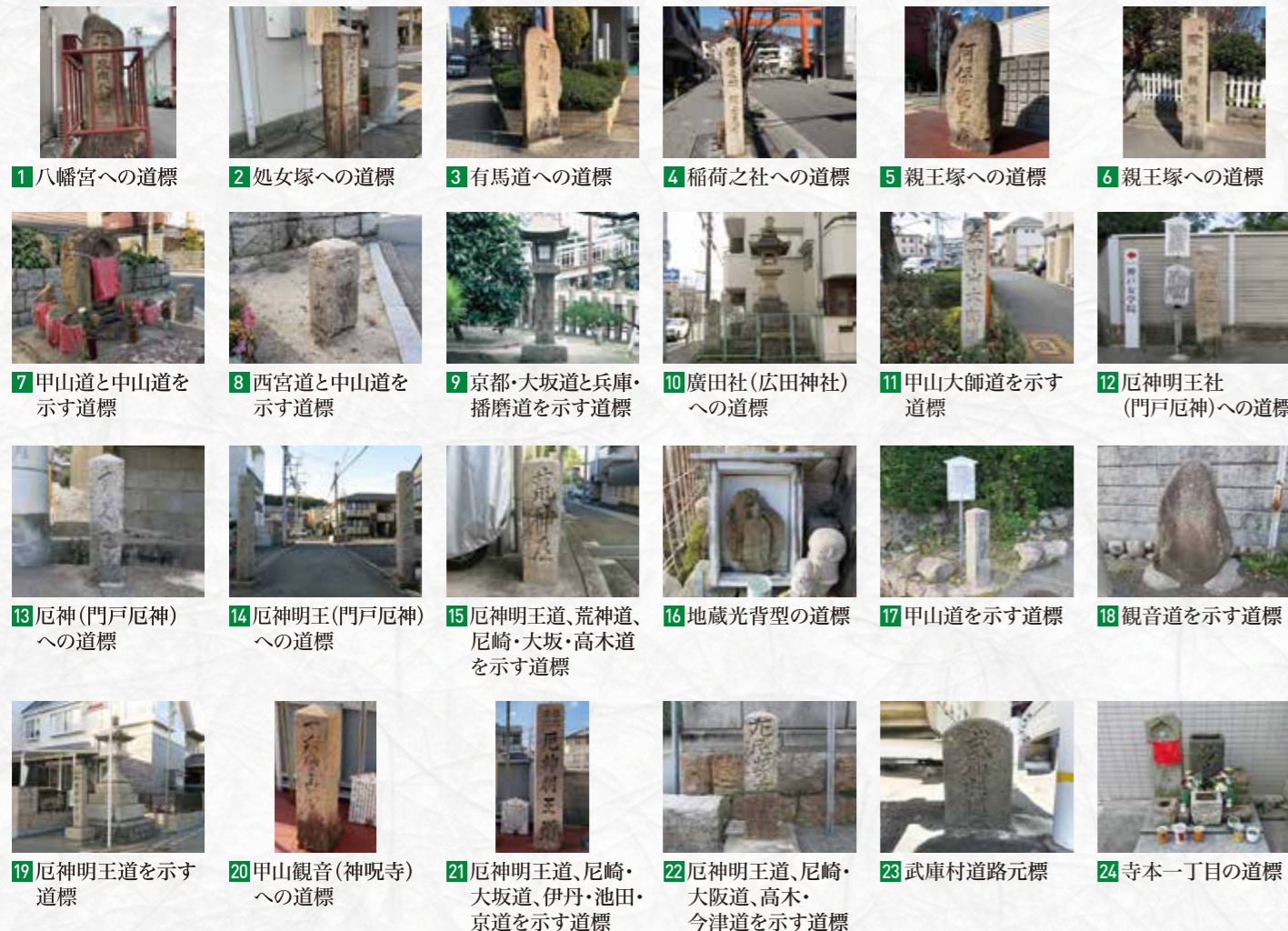
## 京都文化博物館★

京都の歴史と文化をわかりやすく紹介する総合的な文化施設です。重要文化財に指定されている別館(旧日本銀行京都支店)や京都の町家格子の町並みを再現したろうじ店舗などみどころが満載です。開館時間▶10:00～19:30(特別展は～18:00、金曜は～19:30)※入場は各30分前まで 入場料▶一般500円、大学生400円、高校生以下無料(特別展料金は別途必要) 休館日▶月曜(ただし祝日は開館、翌日休館)、年末年始 ☎075-222-0888

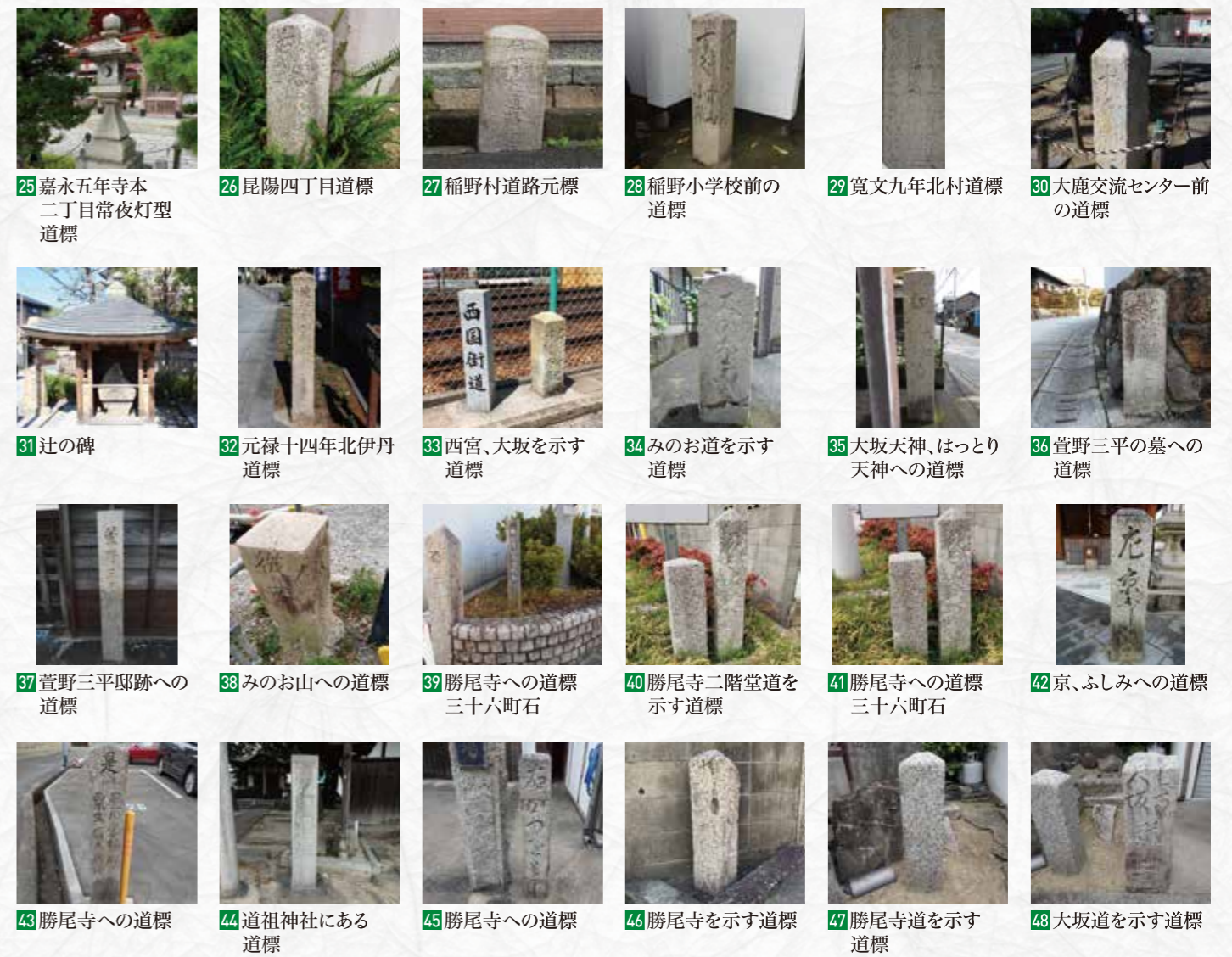


# ◆西国街道道標

番号	府県	所在地	通称	備考	掲載ページ
1	兵庫県	神戸市灘区船寺通	八幡宮への道標		1
2		神戸市東灘区御影塚町	処女塚への道標		2
3		神戸市東灘区住吉宮町	有馬道への道標		2
4		神戸市東灘区森南町	稲荷之社への道標		3
5		芦屋市春日町	親王塚への道標		3
6		芦屋市楠町	親王塚への道標		3
7		芦屋市春日町	甲山道と中山道を示す道標	地藏菩薩立像浮彫	3
8		芦屋市春日町	西宮道と中山道を示す道標	7と同じ場所に建っている	3
9		西宮市社家町	京都・大坂道と兵庫・播磨道を示す道標	寛政11年(1799)に西宮神社に奉納された常夜灯型道標。西宮市指定文化財。	4
10		西宮市中屋町	廣田社(広田神社)への道標	明治3年(1870)に建てられた道標。銘文は広田・西宮両社神主の筆蹟と伝わる。	4
11		西宮市六軒町	甲山大師道を示す道標	大正8年(1919)に大阪北久寶寺町の辰巳彌助によって建てられた道標。	4
12		西宮市門戸岡田町	厄神明王社(門戸厄神)への道標	文久2年(1862)に再建された道標。	4
13		西宮市門戸岡田町	厄神(門戸厄神)への道標		4
14		西宮市門戸西町	厄神明王(門戸厄神)への道標	大正13年(1924)に大阪洗心講によって建てられた道標。	4
15		西宮市門戸東町	厄神明王道、荒神道、尼崎・大坂・高木道を示す道標	地中から掘り起こされ再建された道標。	4
16		西宮市門戸西町	地藏光背型の道標	腹切地藏の堂脇に残されている道標。	4
17		西宮市門戸西町	甲山道を示す道標	大坂新町の折屋徳兵衛によって建てられた神呪寺の参詣道を示す道標。	4
18		西宮市門戸西町	観音道を示す道標	神呪寺の参詣道を示す道標。	4
19		西宮市門戸東町	厄神明王道を示す道標	大正11年(1922)に建てられた道標。	4
20		西宮市下大市西町	甲山観音(神呪寺)への道標	大坂新町の折屋徳兵衛・ゑみによって建てられた道標。	4
21		西宮市下大市西町	厄神明王道、尼崎・大坂道、伊丹・池田・京道を示す道標	尼崎生魚上積中によって建てられた道標。	4
22		西宮市下大市東町	厄神明王道、尼崎・大阪道、高木・今津道を示す道標		4
23		尼崎市西昆陽	武庫村道路元標	ガードレールの後ろで探していく。	5
24		伊丹市寺本	寺本一丁目の道標	正面半肉彫り地藏像	5



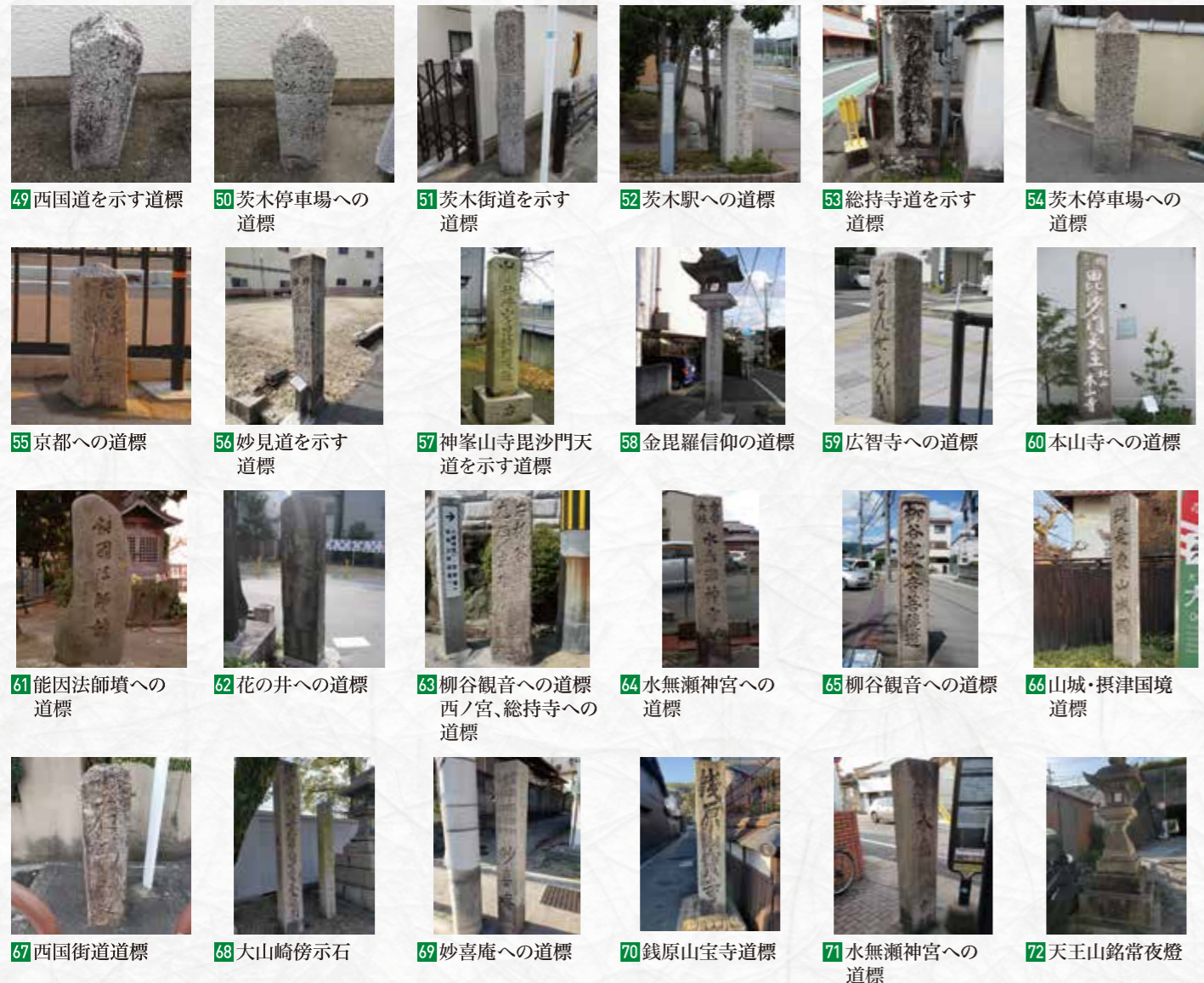
番号	府県	所在地	通称	備考	掲載ページ
25	兵庫県	伊丹市寺本	嘉永五年寺本二丁目常夜灯型道標	元は昆陽井に架かる橋のたもとに建っていたが平成9年に国道171号線拡幅工事に伴い昆陽寺山門前へ移設	5
26		伊丹市昆陽	昆陽四丁目道標	東天神社前	5
27		伊丹市昆陽	稲野村道路元標		5
28		伊丹市昆陽	稲野小学校前の道標		5
29		市立伊丹ミュージアム	寛文九年北村道標	普段は収蔵庫内で保管(閲覧対応不可)	6
30		伊丹市大鹿	大鹿交流センター前の道標		5
31		伊丹市北伊丹	辻の碑		6
32		伊丹市北伊丹	元禄十四年北伊丹道標		6
33		池田市石橋	西宮、大坂を示す道標	旧石橋村高札場一部は線路に面しており視認困難。	6
34		箕面市牧落	みのお道を示す道標	牧落高札場	7
35		箕面市牧落	大坂天神、はつとり天神への道標	牧落高札場	7
36		箕面市萱野	萱野三平の墓への道標		7
37		箕面市萱野	萱野三平邸跡への道標	萱野三平旧邸母屋は伊丹市に移築	7
38		箕面市西宿	みのお山への道標		7
39		箕面市粟生新家	勝尾寺への道標 三十六町石	勝尾寺大鳥居脇	8
40		箕面市粟生新家	勝尾寺二階堂道を示す道標	勝尾寺大鳥居脇	8
41		箕面市粟生新家	勝尾寺への道標 三十六町石	勝尾寺大鳥居脇	8
42		箕面市小野原東	京、ふしみへの道標		8
43		茨木市豊川1丁目	勝尾寺への道標		8
44		茨木市豊川1丁目	道祖神社にある道標	道祖神社前に建っている。	8
45		茨木市宿川原町	勝尾寺への道標	45.46.47.48は同じ場所に建っている。	8
46		茨木市宿川原町	勝尾寺を示す道標	45.46.47.48は同じ場所に建っている。	8
47		茨木市宿川原町	勝尾寺道を示す道標	45.46.47.48は同じ場所に建っている。	8
48		茨木市宿川原町	大坂道を示す道標	45.46.47.48は同じ場所に建っている。	8





# ◆西国街道道標

番号	府県	所在地	通称	備考	掲載ページ
49	大阪府	茨木市宿川原町	西国道を示す道標	49.50.51は同じ場所に建っている。	8
50		茨木市宿川原町	茨木停車場への道標	49.50.51は同じ場所に建っている。	8
51		茨木市宿川原町	茨木街道を示す道標	49.50.51は同じ場所に建っている。	8
52		茨木市中河原町	茨木駅への道標	現地にあるものは昭和57年(1982)以降に新しく建てられたもので、実物は茨木市立文化財資料館に保管されている。	9
53		茨木市耳原	総持寺道を示す道標		9
54		茨木市十日市町	茨木停車場への道標		9
55		茨木市太田	京都への道標		9
56		高槻市氷室町	妙見道を示す道標		10
57		高槻市芥川町	神峯山寺毘沙門天道を示す道標		10
58		高槻市芥川町	金毘羅信仰の道標		10
59		高槻市天神町	広智寺への道標		10
60		高槻市白梅町	本山寺への道標	もとはJR高槻駅北側広場に建っていた。	10
61		高槻市古曾部町	能因法師墳への道標		10
62		高槻市別所新町	花の井への道標		10
63		島本町桜井	柳谷観音への道標 西ノ宮、総持寺への道標		11
64		島本町東大寺	水無瀬神宮への道標	64.65は同じ場所に建っている。	11
65		島本町東大寺	柳谷観音への道標	64.65は同じ場所に建っている。	11
66		大山崎町大山崎藤井畑	山城・摂津国境道標		12
67		大山崎町大山崎藤井畑	西国街道道標	元禄5年(1692)建立。橋本渡道との分岐点。	12
68		大山崎町大山崎西谷	大山崎傍示石	かつては大字大山崎松原の一角に存在した。町指定文化財。	12
69		大山崎町大山崎竜光	妙喜庵への道標	昭和3年(1928)建立。三宅安兵衛の遺志による。	12
70		大山崎町大山崎竜光	銭原山宝寺道標	近代建立。	12
71		大山崎町大山崎明島	水無瀬神宮への道標	昭和14年(1939)建立。	12
72		大山崎町大山崎白味才	天王山銘常夜燈	嘉永3年(1850)3月建立。町指定文化財。	12



番号	府県	所在地	通称	備考	掲載ページ
73	京都府	大山崎町大山崎早稲田	石敢当	大山崎東黒門跡にあり。	12
74		大山崎町大山崎傍示木	船形地藏道標	西国街道と久我驛の分岐点に設置。ただし当初の設置場所は、北東50メートルのところと推定。きつね渡場道との分岐点。	12
75		大山崎町門明寺夏目	柳谷観音への道標	大山崎町立中央公民館中庭に移設。	12
76		大山崎町門明寺夏目	淀への道標	大山崎町立中央公民館中庭に移設。きつね渡しの表記あり。	12
77		大山崎町門明寺夏目	神木浜への道標(推定)	大山崎町立中央公民館中庭に移設。上部欠損。	12
78		大山崎町門明寺夏目	道標(近代)	大山崎町立中央公民館中庭に移設。上部欠損。	12
79		長岡京市調子	あたご道とたんば道を示す道標		12
80		長岡京市友岡	柳谷観音への道標	調子の瑞泉寺から友岡の如圓寺へ斜めに向かう道と西国街道との交差点に建つ。	12
81		長岡京市開田	西国街道道標	一里塚幼稚園東の角に建つ。	12
82		向日市向日町南山	五辻の道標		13
83		向日市寺戸町梅ノ木	灰方、金蔵寺への道標	83.84.85.86は同じ場所に建っている。	13
84		向日市寺戸町梅ノ木	宝菩提院への道標	83.84.85.86は同じ場所に建っている。	13
85		向日市寺戸町梅ノ木	淳和天皇陵、桓武天皇皇后陵への道標	83.84.85.86は同じ場所に建っている。	13
86		向日市寺戸町梅ノ木	大原野神社への道標	83.84.85.86は同じ場所に建っている。	13
87		向日市寺戸町初田	三鈷寺への道標		13
88		向日市寺戸町久々相	光明寺道の大道標	もとはJR向日町駅前に建っていた。	13
89		京都市南区久世川原町	西国街道への道標		14
90		京都市南区唐橋羅城門町	柳谷観音・八幡への道標		14



**歴史街道の情報をどうぞ**

● 右記の二次元コードから道しるべ詳細情報及び他のウォーキングマップもご覧いただけます。

**歴史街道推進協議会のホームページ**

インターネットで歴史街道や各地の見所・おすすめ情報を紹介しています。また歴史街道倶楽部などのイベント案内や公式facebookも是非ご覧ください。